



高橋社長（左）との素敵な2ショット！

## 吉田 成人



（前編に続く）

「工事終盤や作業が完了した際にお客様から褒めてもらえる瞬間が仕事のやりがい」と語る吉田成人。2022年の年明けから4月にかけて、2つの案件を担当した。その現場は達成感を得られたと同時に、大きな反省を残した案件だった。ベテラン社員であっても失敗から学び、反省を活かす姿勢を忘れない吉田の、日々の心がけを探る。

### 期待値を超えた瞬間

2022年に入つてすぐ、吉田は千葉県内にある食品関係の現場を任された。工事は問題なく進み、無事終了。お客様からは「配管の施工状態もきれいで、頼んで良かった」「次もよろしくお願ひしますね」と声をかけられ、後日、千葉県内にある別の食品工場の施工を依頼された。

「そのお客様からは、『また来てくれるんですよ』と言っていたので、私はどの現場であつて

も、お客様が期待する以上の仕事をしようという意気込みで作業をしているので、お客様に認めてもらった達成感がありましたね」。

誇らしい気持ちを胸に、次の現場へと向かった吉田。だが、そこにはある問題が待ち構えていた。

### 失敗を糧に

配管と配管とをつなぎ合わせる際、さくらでは、溶接作業を2回行うルールを設けている。施工ミスを防ぐため、ルール遵守を徹底しているのだ。しかし、ある場所の配管は作業がしにくく、溶接が1回しかできなかった。吉田は仮に1回しかできなくとも、溶接部分に隙間ができていなければ問題は無いと考え、溶接を1回のみで終わらせることに。だが、その後他の場所の作業を終え、漏れがないか気密テストを行う工程へと移行した時、問題が起こった。

実はテストを行った日、吉田は

新型コロナウイルス感染症のPCR検査を受けるため、宿舎で待機していた。その時に上司から電話があり、気密テストで異常が見

つかったと知らされたのだ。自身が現場にいない上に、作業不備が発覚。二重に迷惑をかけてしまい、ただただ反省するしかなかった。ルールを設けているのは、ミスを防ぐため。自身の判断が誤っていたと再認識し、それ以降はルールを徹底しようと固く心に誓った。

「幸いにも、お客様からは『ありがとうございます』。またよろしくお願ひします』と言っていただけで、良い関係性のまま仕事を終えることができました。もし、またチャンスを得ただけけるのなら、失敗を踏まえた上で、今後も私に現場を任せてもらいたいと考えています」。

### 仲間との

### コミュニケーション

配管工事の仕事は出張が多く、1つあたりの現場を担当する期

間は2か月から半年。規模が小さい現場でも1か月から1か月半だ。大きな現場には、危険な薬品を扱う化学工場やバイオマス発電所の工事があり、改修工事ともなる稼働中の工場内での作業となる。細心の注意を払う必要があるなど、精神的負担も大きい。しかもその間は、家族と離れた宿泊先での生活。この仕事を長年経験している吉田は慣れている。他の若手社員も同じとは限らない。ストレスを溜め込んでいないか、時折周囲を見渡すようにしているという。

「実際にホームシックになつている人がいるかどうかは分かりません。ただ、仕事をする環境が良好であれば、家族が近くにいないくて寂しい気持ちや少しは紛れるのではないのでしょうか。仕事に笑顔でいられたら、物事は悪い方向には進まないと思うのです」。

吉田自身、人付き合いは得意ではないが、一緒に働くメンバーにはいつも笑っていてほしいという思いで接している。休日に趣味

の競艇を楽しむため、出張先にある競艇場へと足を運ぶ際は、メンバーを誘うことも。休日にリフレッシュすれば、仕事への活力も自然と湧いてくる。趣味をきっかけに、仲間たちとコミュニケーションを取ろうと意識しているのである。

### 未経験の作業に挑戦できる環境

吉田が考えるさくらの魅力の1つは、勉強できる環境があることだ。冷蔵庫や冷凍庫といった冷媒関係の仕事は、前職ではあまり経験がなかったこともあり、新たな知識を身につけられる絶好の機会となっている。冷媒関係の施工は、仕様や施工にあつたてのルールが他の案件と多少異なり、自身にとって多くの学びを得られるのだ。

さらに、専務や常務が持っている技術や知識、現場をおさめる能力を間近で見られる部分も大きい。「勉強して、技術はもちろん知識もさらに身につけたい」とモ

チベーションが上がリ、目標に向かって突き進む力を与えてくれる。憧れの存在が、成長意欲に火をつけてくれるのだ。

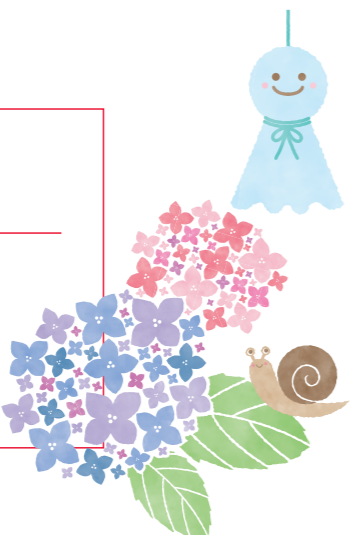
今後の目標は、さらなるキャリアアップ。加えて、仲間たちと切磋琢磨し、一緒に楽しく仕事ができる環境を作るべく、今後も邁進していくつもりだ。まだまだ成長し続ける吉田。その歩みは、とどまるところを知らない。

### 企業情報

設立年：2012年4月

年商：11.6億円

※2022年3月決算時点





17.18号の巻頭インタビューにご登場！

よしだ なるひと

# 吉田成人さんってこんな人！

2号にわたって巻頭インタビューに登場した吉田さんとは、  
公私ともに親しい間柄だという千葉専務。  
現場での姿とのギャップや思い出話、今後への期待についてもお話いただきました。



専務  
ちば しんや  
千葉 真也さん

メッセージ

仕事でもプライベートでも、いつも付き合ってくれてありがとう。元請け業者の方々とのコミュニケーションも修得しつつ、現場を回していけるよう、一緒に頑張っていきましょう！

吉田さんを一言で表すと

仕事に真面目な頼れる部下

担当する現場では、いつも真面目に生き生きと仕事に取り組んでいます。

吉田さんとの関係性

入社間もなく私の部下となって以来、4年ほどの付き合いになります。私は彼のことを「だーちゃん」と呼んでいます。このあだ名は、親しくなるために思いつきで名付けたあだ名ですが、社内で「だーちゃん」と呼んでいるのは唯一私だけです(笑)一緒に現場を担当することも多々ありますし、プライベートでもお酒を飲んだり遊びに行ったりする間柄です。

期待していること

今でも稀に任せることもありますが、頭を張って現場をこなしてくれることを期待しています。部下と上手にコミュニケーションをとり、安全面にも気を配りながら作業を回せるようになってほしいと思います。

吉田さんの意外な一面

現場で気を張って真面目に取り組む姿からは少し想像し難いかもしれませんが、お酒が入ると「かまってちゃん」になります(笑)ただ、お酒の場でも愚痴や人の悪口を言うことはなく、性格の良さは普通の通りです。

思い出のエピソード

とある会社の冷凍庫の工事を一緒に担当したときのこと。夜間に、マイナス25℃の庫内で2時間作業し、30分の休憩を繰り返す、少し大変な現場でした。工事期間中は昼夜逆転の生活になるのですが、仕事を終えた昼間にだーちゃんを含めた4人ほどで映画を観に行ったことが良い思い出です。だーちゃんとは、他の現場終わりに何度か一緒に映画に行ったことがあります。

# いつもありがとう

## ご家族エピソード

私たちが陰ながら支えてくれている家族の存在。皆さんは家族に感謝の気持ちを伝えられていますか？今回は2名の方にご家族への感謝のメッセージを、エピソードも交えて語ってもらいました。これを機に、皆さんも大切な家族へ感謝を伝えてみては？

To. 妻 Thank you!

配管

まつ うら たか ゆき

松浦 隆之さん



Message

いつもありがとう。笑いが絶えない楽しい家庭を作ることができているのは、あなたのおかげです。これからもよろしくね！

パートの仕事も忙しいなか、家事も育児も頑張ってくれて、毎日とても感謝しています。特に11歳と6歳の女の子2人の子育ては、苦勞をかけてしまっているのではないかと感じています。小学校の女の子同士となると喧嘩も多く、最近だと『星のカービィ』のゲームを取り合いしていることもしばしば……。妻が仲裁に入り丸く収めていますが、忙しいなかでも子どもたちにしっかり向き合ってくれている姿を見ると、とてもありがたく感じています。また給食センターがお休みの期間は、朝早く起きて子どもたちのお弁当を準備する必要があり、いつも以上にバタバタしていました。そのようなときでも、忘れものが多い私を心配して「これ持った？あれ忘れてない？」と、出勤前に必ず声をかけてくれます。家族皆を気遣ってくれる妻に感謝しつつ、これ以上負担をかけないよう、私の忘れっぽい性格は直さなければと思っています。



To. 妻 Thank you!

配管

こじま ひろみ

小島 博己さん



Message

平日私が家にいない間、子育てや家事など色々やってくれてありがとう。また家族でお出かけができればと思います！

平日、家に私がない間、5歳と3歳の子どもを面倒を見てくれることに感謝しています。妻の1日は、早朝6時に起きてごはんを作ることからスタート。子どもを起こし、着替えさせて、子どもにごはんを食べさせてから保育園へ送ってくれ、18時前まで仕事をした後に保育園へのお迎えも行ってくれています。任せていることが多く、申し訳なく感じながらも、日々感謝をしています。

# HAPPY BIRTHDAY!

7月がお誕生日はの方！ぜひ、皆さんでお祝いしましょう！

7月9日 伊藤 優衣さん

